

## 令和3（2021）年度 資源評価調査報告書

種名	アオメエソ	対象水域	太平洋中・南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター	協力機関名	愛知県水産試験場、高知県水産試験場、宮崎県水産試験場

### 1. 調査の概要

- ・太平洋中部・南部沖合底びき網漁業漁場別漁獲統計が利用可能である。
- ・愛知県では主要港における「メヒカリ（類似種含む）」の漁獲量が把握されている。
- ・高知県では、漁獲量及び沖合底びき網の1曳網あたり漁獲量により、水準と動向が評価されている。
- ・宮崎県では、アオメエソ類について、深海えびびき網漁業の漁獲量及び努力量（日・隻数）あたり漁獲量により、資源レベルと動向が評価されている。なお漁獲量は銘柄別で整理されている。

### 2. 漁業の概要

- ・太平洋中部・南部沖合底びき網漁業の対象種であり、大半は中部の1そうびきにより漁獲される。2000年以降の漁獲量を図1および図2に示す。中部1そうびきの漁獲量は2000年から2008年にかけて増加したのち減少し、2020年は275トンであった。南部の1そうびきによる漁獲量は23～164トンの間で増減しており、2020年は47トンであった。南部の2そうびきによる漁獲は少なく、2020年は4トンであった。
- ・愛知県では、主要港（西浦、主要漁業は沖合底びき網）の類似種を含む漁獲量は2002年の162トンから2008年の315トンへ増加したのちやや減少し、2010年ごろ以降は概ね200トン前後で推移している。2020年は222トンであった。
- ・高知県では、県全体の漁獲のうち大半は御畳瀬の沖合底びき網によるものであり、年毎の変化が大きい。
- ・宮崎県では、アオメエソ類の漁獲はすべてが深海えびびき網漁業による。漁獲量は2016年以降300トンを超える水準にある。2020年は385トンであった。

### 3. 生物学的特性

(1) 分布・回遊：日本周辺での分布は本州～九州の太平洋岸、日本からパラオ海嶺に至る大陸棚縁辺～斜面域。産卵海域はわかっていないが、日本の南方海域に産卵場があり、仔稚魚は黒潮の影響により日本近海に輸送されていると考えられている。着底後は成長とともに分布水深が深場に移動する。土佐湾では、1) 8～2月の間に体長4～5cmの個体が水深150～200mの海底に着底、2) 5・6月までに7.5～8cmに成長して水深200～300mまで移動、3) 着底から1年で12.5～13cmに成長して水深300～350mに移動する（Sakaji et al.(2006)）。その後成熟すると考えられるが、成熟個体が得られ

た記録はない。

- (2) 年齢・成長：土佐湾では、1歳で体長 85～90 mm、2歳で体長 120～125 mm、3歳で体長 145～150mm。
- (3) 成熟・産卵：成熟個体が得られておらず産卵海域は未解明である。
- (4) 食性：主におきあみ類。小型個体はかいあし類等の小型甲殻類、大型個体は魚類やえび類を捕食する。

#### 4. 資源状態

・太平洋中部1そうびき沖合底びき網のCPUEは2001年～2008年にかけて増加し、それ以降は2020年まで概ね50kg/網で変動しながら推移している（図1、表1）。太平洋南部1そうびきのCPUE（図2、表1）では、2000年代では増減しつつ75kg/網前後で推移したが、2017年に252kg/網に急増した。その後は減少傾向となり、2020年は75 kg/網と2016年以前と同程度となっている。

・宮崎県では、第8回（2018年）の沿岸資源評価において、深海えびびき網漁業のCPUE（kg/隻・日）を指標に、2017年のアオメエソ類の資源レベルを高位、動向を横ばいと評価している（宮崎県水産試験場 2018）。その後も漁獲量は300トン以上の高い水準で推移している（宮崎県水産試験場 2021）。

・高知県では平成28年度において、高知県における沖合底びき網のCPUE(kg/網)により、水準は中位、動向は減少と評価された（高知県水産試験場 2017）。

#### 5. 資源回復などに関するコメント

・生物特性や資源構造に不明な点が多いが、重要な底魚類として継続的なモニタリングが必要である。

#### 引用文献

Sakaji. H., H.Honda and K.Nashida (2006) Growth and ontogenetic migration of greeneye *Chlorophthalmus albatrossis* in Tosa Bay, Pacific coast of South-Western Japan. *Fisheries Science*, **72**, 1250-1255.

宮崎県水産試験場（2018）資源新規評価⑩アオメエソ類資源評価票 第8回（2018）宮崎県沿岸資源評価 平成30年度 <http://www.mz-suishi.jp/result/result0.html>

宮崎県水産試験場（2021）アオメエソ類 既評価その他の魚種 第11回（2021）宮崎県沿岸の水産資源の評価結果 宮崎県沿岸資源評価 令和3年度 <http://www.mz-suishi.jp/result/result0.html>

高知県水産試験場（2017）アオメエソ 高知県海域における漁海況と主要魚種の資源生態（平成28年度PDF版）

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/files/2017031500070/aomeeso.pdf>

#### 参考資料

茨城県水産試験場（2021）アオメエソ 茨城県産重要魚種の生態と資源

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/suishi/teichaku/documents/r2aomeeso>

.pdf

山崎幸夫 (2018) 漁獲統計情報からみた茨城県沿岸の底魚類の資源動向. 東北底魚研究, 38, 52-56.

福島県水産資源研究所 (2021) アオメエソ 福島県版資源評価票

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/471138.pdf>

海洋と生物 (2008) 179号 特集「メヒカリという魚」

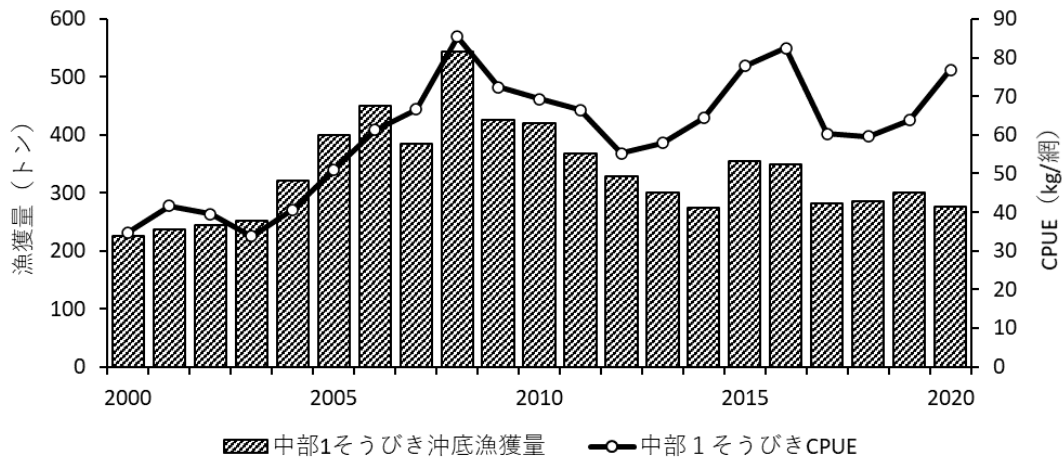


図1. 太平洋中部1そうびき沖合底びき網による漁獲量及びCPUE (kg/網)

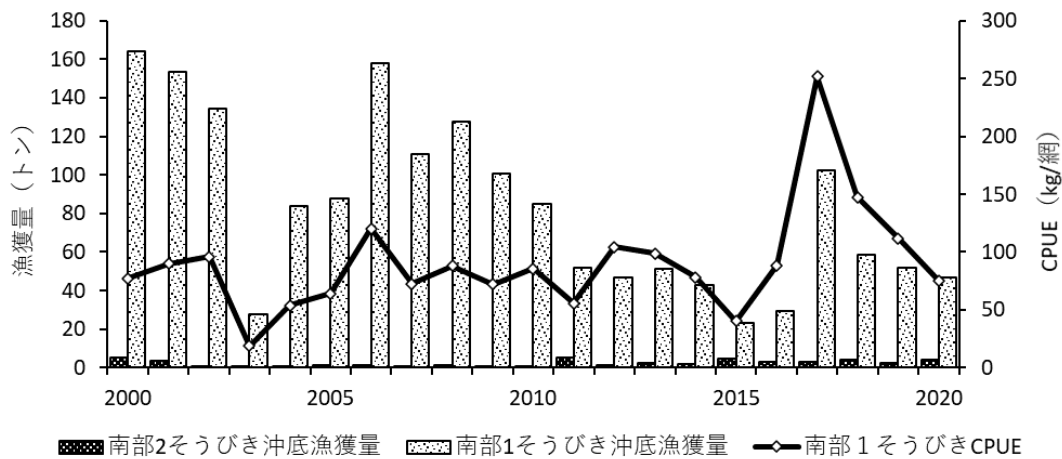


図2. 太平洋南部1そうびき・2そうびき沖合底びき網による漁獲量並びに1そうびきCPUE (kg/網)

表 1. 太平洋中部・南部の沖合底びき網による漁獲量及び CPUE (kg/網)

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
漁獲量 (トン)											
太平洋中部 1そうびき	226	237	245	251	321	399	451	384	544	426	420
太平洋南部 1そうびき	164	153	134	28	84	88	158	111	128	100	85
2そうびき	6	3	1	0	1	1	1	1	1	0	1
CPUE (kg/網)											
太平洋中部 1そうびき	34.8	41.7	39.5	33.8	40.7	51.0	61.3	66.7	85.5	72.4	69.3
太平洋南部 1そうびき	77.1	89.9	95.9	18.6	54.0	64.0	120.4	72.5	87.9	72.4	85.9
2そうびき	0.7	0.4	0.1	0.1	0.2	0.5	0.5	0.6	0.8	0.2	0.5

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
漁獲量 (トン)										
太平洋中部 1そうびき	368	328	300	275	354	350	281	286	300	275
太平洋南部 1そうびき	52	47	51	43	23	29	102	59	52	47
2そうびき	5	2	2	2	5	3	3	4	2	4
CPUE (kg/網)										
太平洋中部 1そうびき	66.4	55.3	57.9	64.4	77.9	82.5	60.4	59.6	63.8	76.9
太平洋南部 1そうびき	56.0	104.4	98.7	78.4	40.2	88.6	251.7	147.4	111.7	75.3
2そうびき	2.9	0.8	1.2	1.0	2.3	1.5	1.5	2.0	1.3	3.0